

三世代CCリング大会 9月4日(日) 8:30~開会式 9:00~試合 掃水小学校 体育館
東部防災ネットワーク 合同避難訓練 10月30日(日) 8:00~ 松阪総合運動公園 他

掃水まちづくり協議会より
7月30日(土)、掃水夏まつりが掃水小学校運動場で賑やかに開催されました。校庭の真ん中には、前日に老い会女性部や市民講座の方々で作られた花飾りをつけた櫓が建てられ、皆でしょんがい踊りを楽しみました。今年は従来の『しょんがい』に加え、奥田三角ものがたりを歌詞にした『しょんがい三角さん』も踊られ、歌詞の入った団扇が踊った人に配られました。(『しょんがい三角さん』の全歌詞を裏面に掲載)

夕方の明るい時間には、この日の為に練習を重ねてきた健康体操やキッズダンス、掃水幼稚園児とつくし保育園児による踊り等がまつりに華を添えました。

又、自治会や商工会・はつらつかラぶで運営する10軒の夜店が夏まつりを一層盛り上げました。夜店担当の方には何日も前から準備・試作で、又、役員の方には地域の皆さん全員に前売り券の注文・配布・集金をするなど自治会が中心になり、その他ボランティアの方など地域の皆さんみんなで運営されました。

2軒出店していた豊原自治会の西村会長は、「準備など大変なことも多かったが、自治会内の絆が強くなつて良かった。」と話されていました。

全体の運営では、地域振興部や体育部の皆さんが中心となって進められ、おかげで事故もなく楽しい夏まつりとなりました。

最後に、商工会から五千円寄付を頂いたことをご報告させて頂きます。ありがとうございます。

みんな楽しく 掃水夏まつり

掃水まちづくり協議会
たより

平成28年9月1日
掃水まちづくり協議会
122号



全国大会ご支援のお礼
このたび、高円宮賜杯第36回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメントの三重県代表として出場に際ましては、物心両面にわたり、ご支援ご声援を賜り厚く御礼申上げます。

目標としていた「ベスト4」は、あと一步で逃しましたが、初出場で全国8強入りと健闘し、子ども達・保護者・スタッフともに、憧れの全国大会で大きな感動を味わうことができました。

これも、皆様方のご芳志の賜であり、心から感謝致しております。

子ども達は、今回の全国大会出場で得た貴重な経験を生かし、なお一層の精進を重ねてくれる事と思います。

今後ともご支援とご声援を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

「しょんがい二角さん」

～奥田二角ものがたり～

近藤 さと子 作

さてさて 捃水の 皆さまよ
これから語るは 地元の偉人
奥田二角 ものがたり
不思議な名前 三角さん
三角さんは 何ぞえな

三重の中央 台高(だいこう)の
山から滴る 石清水
集めて流れる 榆田川
その川の ほとりにて
生まれたる その人は
我らが誇り 三角さん

時は元禄 十六年
赤穂浪士 討ち入りの
その次の年 奥田家に
三男として 生まれたる
元の名前は 総四郎

江戸の世となり 百年余
天下泰平の 時代なり
變える

大庄屋の 奥田家は
遡ること 五代前
奥田一族 越前より

この地を目指して 移り来て
郷里越前と 同じ地名
豊原と名前 付けます
遠きいにしえ 江戸時代前(天正
年間) はるばる来りし ご先祖様

さてさて はじめて三角さん 幼い頃より 書を読みて
少年三角 十三歳 師に付き学問 初めとす

青年となるや 十九歳
天下に名だたる 儒学者の
伊藤東涯 先生を
求め京都へ 上りゆく
待ち焦がれたる 出立で
胸の高鳴り 如何なりや

優秀なるや 三角さん
ひたすら勉学 儒学道

奥義極めて 十年(ことせ)過ぎ

二十九歳に 成りぬるを

先生からも 褒められて

ふるさと三重に 帰り来て

津藩で儒学 教えます

威張らず眞面目で 丁寧に

派閥も作らず 争わず

東涯先生の 学問を
門下生に 教えたる

津藩の殿様 三角を
名前を呼ばず 先生といふ

敬い慕われ
四代藩主に 五十年
尚尚謙虚な 仕えるも
集いた門人 八百人

けれどもいやいや三角さん
学問ばかりの人じやない
文武両道 三馬に優れ
家の裏には 馬場作り

これでもいやいや三角さん
豊原と名前 何から何まで
奥田三角 何から何まで

この地を目指して 移り来て
郷里越前と 同じ地名
豊原と名前 付けます
遠きいにしえ 江戸時代前(天正
年間) はるばる来りし ご先祖様

ところでなぜなぜ 三角か
これは自ら名乗った 名前なり
三角形が 大好きで
自分の名前も三角とす

そもそも三角形とは何ぞえな

月は満れば 欠けまする

何でもかんでも 一杯は
失うものが 出てくると

常に謙虚な 三角さん
完璧なる 四角より

三角形を 良しとす
これを師に習う 戒めなり

豊原の 屋敷の庭に
三角の小さな 廉建て

三角亭と 称するなり
何でもかんでも 三角形

窓、机、本棚、硯
津で教鞭 とる時も

津で教鞭 とる時も
三角亭 気にかかり

早く帰りたやと 気もそぞろ

帰り来たれば 三角亭
窓から神山さんを 仰ぎ見

窓から蓮の 花を見る

三角亭にて 過ごす時
これぞ至福の 時なるぞ

三角さんの 書いた本
これ又題名 三角集
何から何まで 三角づくめ

これでおしまい
奥田三角ものがたり
櫛田川の そのように

奥田三角 一代記
清らかで 蕩蕩たる

さてさて 未だ未だ続きあり
さてさて 捃水とは何ぞえな
さてさて 捃水は 三角さん付けた
櫛田川の 異名なり
櫛は漢語で 櫛のこと
漢字に秀てる 三角さん
櫛を櫛と呼び変えて
水も川の 言葉にて
愛を込めて 櫛田川
櫛水と呼びまする
これ漢学者の 粋な戯れ

我らが母校の 小学校
その名を負う 三重県内
津々浦々を 訪ねても
小学校に このような
風雅で優美な 名前は無い

8月2日(火)、安楽町(旧)集会所で、同所に設置した「AED」の取り扱い説明会が開かれました。安楽町・山下町在住の24名の参加者は、担当者より、AED本体と人形模型を使って緊急時の取り扱いの説明を受けた後、緊急時に使えるよう実際に器具を使って体験しました。

今後もAED取り扱い説明会を順次開催する予定です。ご希望の方は櫛田地区市民センターへお申し込みください。(15人程集まつた時点で、開催日を調整しご連絡させて頂きます。)

※現在「AED」は櫛田派出所と安楽町(旧)集会所の二か所に設置されています。



「AED」説明会、 安楽で開催